

平成26年度

環境活動レポート



対象期間 : 平成26年4月～平成27年3月

発行年月日 : 平成27年7月10日

株式会社 理水興業

・表紙	1
・もくじ	2
1 挨拶	3
2 環境方針	3
3 事業概要&認証登録範囲	4
4 実施体制	5
5 環境目標	6
6 環境活動計画	7
7 環境目標の実績	8
8 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度以降の取組内容	9
9 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無	10
10 代表者による全体評価と見直し結果	10
11 情報公開事項	11～13

1 挨拶

当社の理水興業という社名から、生活環境の原点である水資源を大切に
する事に重点を置き、汚染された水をもう一度環境に適した資源になる
べく、あらゆる環境保全に取り組みます。
また、社会貢献への取り組みと共に東日本大震災への復興にも積極的に
参加し、地域住民の一員として環境対策に惜しみなく力を注ぐ企業を目
指していきたいと考えております。

代表取締役社長

今野 秀實

2 環境方針

《環境理念》

株式会社理水興業は『永遠に美しい地球』をテーマに企業の存立基盤
を確保しつつ、地域社会の一員として環境対策に積極的に取り組み、次
世代へ、より美しい自然環境を引き継ぐために努力し身近な環境の保全
を基軸に地域社会に貢献し、共に繁栄する企業を目指します。

《環境保全への行動指針》

- 1 当社が行う事業活動の環境に与える影響を正確に捉え、環境へ
の負荷を低減し環境の保全活動に努めます。
 - (1) 二酸化炭素排出の削減
 - (2) ゴミの分別・削減
 - (3) 生活排水の軽減・節水
- 2 車輛運行ルート of 効率化とエコドライブを実践し省エネと排ガス抑制、
廃棄物の再資源化に取り組み、リサイクル率を向上させます。
- 3 環境に関する知識の向上を図り普及・啓蒙と環境保全の高揚に努め、グ
リーン購入を推進します。
- 4 現場における再資源化を考慮し、計画・設計時から廃棄物の削減をし効
率的な施工方法で省資源・省エネルギーを推進します。
- 5 地域・社会貢献活動の推進に努めます。
- 6 事業活動に関連する法規制を遵守します。
- 7 全社員及び協力会社従業員にこの環境方針を周知徹底し、理解と意識の
向上に努め、地域に密着した企業活動を行い活動結果を公表します。

制定日：平成26年1月4日

株式会社 理水興業

代表取締役社長

今野 秀實

3 事業概要&認証登録範囲

1 名称及び代表者名

株式会社 理水興業
代表取締役社長 今野 秀實

2 所在地

本社 岩手県花巻市星が丘2丁目16番12号
水環事業部 岩手県花巻市中北万丁目97番地
汚泥リサイクルセンター 岩手県北上市口内町松越134番地1
ペットサロン事業部 岩手県花巻市星が丘2丁目17-16

3 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 環境事業部 部長 高橋 満 TEL: 0198-23-5395
担当者 営業推進課長補佐 主演 睦 TEL: 0198-23-5395

4 事業活動の内容

1. メンテナンス部門

汚水処理施設（浄化槽含）の維持管理、清掃
許可番号 浄化槽保守点検業 岩手県24（登）中第5号 H25・1・7～H28・1・6
盛岡市 24-12 H25・1・7～H28・1・6
浄化槽清掃業 花巻市第337-2号 H26・4・1～H28・3・31

2. 環境事業部門

(1) 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物含）の収集・運搬（積替保管含む）、
中間処理（汚泥）・処理
(2) 一般廃棄物収集運搬業
(3) 貯水槽・油タンク等の清掃・管理、各種配管の洗浄・更生
許可番号 別途記載（P11参照）

3. 工事部門

(1) 管工事 給排水・衛生・空調・消防設備・浄化槽等の設計・施工
(2) 土木工事 水道本管・舗装・下水関連等
(3) その他の工事 電気工事等
許可番号 特定建設業
岩手県知事（特-24）第4479号 H24・8・27～H29・8・26
一般建設業
岩手県知事（般-24）第4479号 H24・8・27～H29・8・26
排水設備工事指定 花巻市 H25・4・1～H30・3・31
大船渡市 H25・4・1～H30・3・31
紫波町 H25・4・1～H30・3・31
北上市 H25・4・1～H30・3・31

4. ペットサロン部門

・動物の小売り及び卸売り並びにそれらを目的とした繁殖または輸出入を行う業務
（その取り次ぎまたは代理を含む）
・保管を目的に顧客の動物を預かる業務

5 主要売上 平成26年度 1.3億

項目	本社	水環事業部	リサイクルセンター	ペットサロン事業部
従業員	54	5	2	2
延べ床面積	646.82	131.36	41.62	81.01

6 認証登録範囲

全組織・全事業活動が認証登録範囲

7 営業範囲

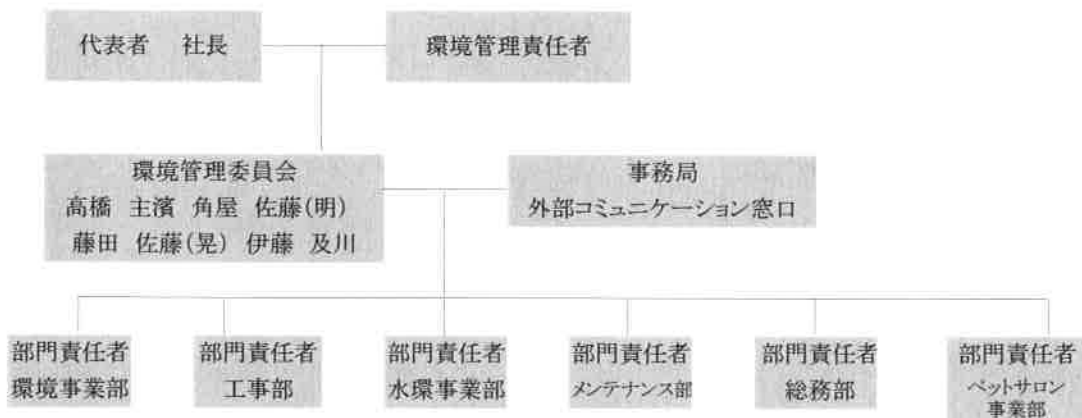
県内一円

8 社歴

昭和35年4月 浄化槽の管理（メンテナンス）・清掃を目的として創業
昭和47年9月 浄化槽の管理・清掃を主要業務として、有限会社ロクサン衛生社を設立。
昭和48年3月 有限会社花巻浄化槽センターへ商号変更
昭和53年8月 貯水槽清掃・産業廃棄物の収集運搬・処分、管工事等を追加
昭和56年11月 有限会社理水興業へ商号変更
昭和62年9月 産業廃棄物収集運搬業許可（岩手県）取得、業務開始
平成5年7月 特別管理産業廃棄物収集運搬業許可（岩手県）取得、業務開始
平成6年10月 株式会社理水興業へ組織変更
平成8年4月 産業廃棄物処分業許可（岩手県）取得、
移動脱水車による汚泥の中間処理業務開始
平成11年3月 特定建設業許可取得（特-10）4479号管工事業
平成22年3月 北上市口内町松越に汚泥リサイクルセンター
（汚泥中間処理施設）竣工・操業開始

4 実施体制

1 組織



2 役割・責任・権限

役職	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任。 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。 ・環境管理責任者を任命。 ・報告を受け全体の評価と見直しを行う。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・代表者に代わり、環境経営システムの構築、実施、管理を行う。 ・環境活動実績の確認、評価。 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告。 ・環境活動レポートを確認。
環境管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・委員長は社長とし、環境管理責任者が召集する。 ・環境管理責任者の提案を審議し、決定事項を部門責任者は各部門で実施する。 ・環境活動レポートの作成、公開。
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐。 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。
部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・担当部門について環境経営システムを実施し、維持する。 ・省資源、省エネ、節水等の奨励・実施・確認・是正。 ・従業員に対する教育訓練の実施。
全社員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚し、能力向上に努める。 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

5 環境目標

1 主な環境負荷の実績

主な環境負荷等の実績

項目	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度 (基準年)	平成25年度	平成26年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /年	664,743	673,523	685,070	713,010	695,028
購入電力使用量	kwh	169,466	182,496	179,608	177,576	179,423
受託産業廃棄物 (収集運搬)	t/年	6,210	12,488	7,160	6,083	18,031
受託産業廃棄物 (中間処理)	m ³ /年	2,497	5,172	4,670	6,988	4,525
産業廃棄物排出量	t/年	107	734	799	1,567	531
一般廃棄物排出量	kg/年	13,970 (11ヶ月分)	28,040	37,110	32,727	13,680
総排水量(水資源投入量)	m ³ /年	2,913	4,791	5,686	5,414	5,618

※購入電力の二酸化炭素排はH25(東北電力)の実排出係数 0.6kg-CO₂/kwhを使用。

2 環境目標の設定

当社では、平成24年度を基準年度として中期及び単年度の環境目標を、それぞれ表2のとおり設定し、環境活動に取り組んでおります。

表2 環境目標

基準年度(平成24年度)比の削減(増加)率(%)

項目	基準年度実績値		中期目標(内単年度目標)			
	実績値	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
二酸化炭素排出量	685,070	kg-CO ₂	1%削減	2%削減	3%削減	4%削減
購入電力使用量	179,608	kwh	1%削減	2%削減	3%削減	4%削減
産業廃棄物排出量	799	t	1%削減	2%削減	3%削減	4%削減
一般廃棄物排出量	37,110	kg	1%削減	2%削減	3%削減	4%削減
総排水量 (水資源投入量)	5,686	m ³	1%削減	2%削減	3%削減	4%削減
グリーン購入	グリーン製品を積極的に購入する。					
環境配慮製品の販売	環境にやさしい設備機器を積極的に採用する。					
社員教育	2回		2回	3回	3回	3回
その他(地域貢献)	2回		2回	2回	3回	3回

6 環境活動計画

当社では、環境方針に基づき二酸化炭素、廃棄物、水使用量を削減し、環境目標を達成するため、従業員が一丸となって省エネルギー、廃棄物の削減・リサイクル及び節水等に取り組んでおります。

取組の実施状況の評価結果は、表3のとおりです。

表3 主な環境活動計画の内容と取組結果

項目	取組内容	評価	備考	
二酸化炭素排出量の抑制	照明	①昼休みなど、部屋を使用していない時は、照明消灯を確実に実行する	○	
		②会議室、給湯室、社員用トイレ、倉庫、更衣室等不必要な時は、消灯している。	○	
		③事務室の部分照明を実行する。	○	
		④照明器具については、定期的な清掃、交換を行う等、適正に管理している。	○	
	冷暖房	①冷暖房の温度（冷房28℃、暖房20℃）を順守する。	△	早朝出勤などで、部屋を「気に詰めるために温度設定が高くなっている場合が多々ある
		②空調を必要な区域・時間帯に限定する。	○	
		③使用していない部屋は、空調を停止している	○	
		④ドアの開け放しはしない。	△	ドアの開けっ放しの状態が多少見られる。
	節電	①昼休みなど、休憩時、不必要な箇所は消灯する。パソコンの電源は切る。	○	
		②残業の時は、必要な箇所のみ点灯し、業務に必要な箇所は消灯する。	○	
		③退社時は、OA機器の待機電源は切る。	○	
		④パソコン等のOA機器や照明器具などの省エネルギー型への切り替えに取り組んでいる。	△	全てではないが、主要箇所から切り替えを行っている。
	車輛その他	①車両のアイドリングストップを実践する。	△	現場でのアイドリングストップの徹底がまだできていない
		②急発進・急加速はしない。	○	
		③冷暖房の控えめ使用	△	外作業が多いため、熱中症対策等の理由でひかえめ運転がむずかしい状況
		④タイヤの空気圧は、適正値を保つよう定期的に調整する。	○	
		⑤建設機械等の運転を停止する際は、エンジンを停止する。	○	
		⑥建設機械等をリースする際は省エネルギーの機種を優先的に選定・リースする	○	
		⑦最大積載量に見合った輸送単位の設定を行う。	○	
	廃棄物の排出抑制	一般廃棄物	①書類の内容やレイアウトを見直し、枚数を少なくする	○
②同じ内容の資料や書類の写しは1冊にまとめ、複数人で利用する			○	
③帳簿見直しによる印刷物の削減			○	
④使用済コピー用紙、段ボール、雑誌、新聞紙等は、所定の場所に分別保管する。			○	
⑤分別した紙ごみは、再生資源業者に引き渡し、リサイクルする。			○	
⑥文書の共有により、不要な印刷物を削減する			○	
⑦紙・金属缶等は、所定の保管容器に確実に分別する。			○	
⑧コピー機のトナーカートリッジの回収、リサイクルを推進する。			○	
産業廃棄物		①産業廃棄物管理票（マニフェスト）をもとに廃棄物の適正な処理を行う。	○	
		②現場等で発生した廃棄物を分別し適正処理を行う。	○	
	③在庫管理の徹底により、不良在庫を減らす。	△	必要量の発注をこころがけ、不要なコストをなくす	
節水・排水	用水・排水	①節水の表示を行う。	○	
		②蛇口・排水管の水漏れがないか確認する。	○	
		③水道を流しながら使用しない。	○	
		④トイレ用水の節水に努める。	○	
施設・設備	①事務所、及び管理施設周辺の整理整頓に心がける。	△	現場管理庫の整理をよびかける	
グリーン購入	①消耗品、事務用品はエコ商品を優先し購入する。	○		
	②省エネ基準適合商品を購入する。	○		
社員教育	①環境関連セミナーに積極的に参加し意識を高める。	×	いつも同じ社員の参加にしか至っていない	
	②朝礼、夕礼の場において社員に周知理解を高める。	○		
地域貢献	①地域のボランティア活動に積極的に参加する。	○		
	②現場周辺の清掃活動を行う。	○		

○：評価できる △：まづまづ評価できる ×：評価できない

7 環境目標の実績

当社では、環境目標の達成状況の確認・評価を行いました。

今回は、エコアクション21を開始した平成24年度の数値を基準に平成26年度の実績についての比較を元に、評価結果を報告いたします。

表4 当該年度の環境目標の達成状況等

項目	単位	基準年	当該年度		環境目標の達成状況	
		実績値(前年度)	削減(増加)率(%)	目標値		実績値
1、電力の二酸化炭素	kg-CO ₂	107,765	2%削減	105,610	107,654	○
2、LPGの二酸化炭素		186	2%削減	182	174	○
3、ガソリンの二酸化炭素		118,132	2%削減	115,769	124,832	×
4、灯油の二酸化炭素		18,258	2%削減	17,893	21,284	×
5、軽油の二酸化炭素		440,729	2%削減	431,914	441,085	×
6、二酸化炭素合計		685,070	2%削減	671,369	695,028	×
7、一般廃棄物	kg	37,110	2%削減	36,368	13,680	○
8、産業廃棄物	t	799	2%削減	783	531	○
9、総排水量(節水)	m ³	5445.4	2%削減	5,336	5,618	×
10、グリーン購入	グリーン製品を積極的に購入する。					○
11、環境配慮製品の販売	環境にやさしい設備機器を積極的に採用する。					○
12、社員教育	回	2回		3回	2回	×
13、その他(地域貢献)	回	2回		3回	2回	×

環境活動の状況

地域貢献活動 会社周辺のごみ拾い (松園町、星が丘、天下田地域)



環境教育 テーマ：エコアクション21への取組内容の周知 地球の現状を知る



献血活動 平成26年8月 全社員対象にした献血活動



8 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度以降の取組内容

1. 取組結果の評価

表5 主な環境活動計画の内容と取組結果

項目	実施状況の評価		達成度
二酸化炭素排出量の抑制	照明	照明機器のLEDへの切り替えを促進していく。	○
	冷暖房	社内の設定温度を徹底し、服装や他の対策（ウォームビズ、クールビズ）を個々に実施する。	×
	節電	無人の部屋や必要のない場所の消灯、また、部屋の使用時も無駄な点灯をなくす様に心がける。	○
	車輛その他	車輛台数が多いので、個々のエコドライブの意識を高める。	△
廃棄物の排出抑制	一般廃棄物	著しく、排出量の減量がみられた。	○
	産業廃棄物	委託業務の受注件数に伴い、排出量は比例していくため、大幅な減量には至らなかった。	△
	受託産業廃棄物	排出事業者への、最終処分からリサイクル処理への切り替えを可能な範囲で促していく。	○
	建設副産物	現場内での分別を徹底していく。	○
節水・排水	用水・排水	水を使用する業務が多いため、大幅な節水・削減に至らなかったが、徐々に意識を高め無駄な作業等を減らす。	△
その他の取組	施設・設備	審査時に指摘を受けた防油堤の設置に未だ至っていないが、管理棟等の表記はすべて改善・実施できた。	△
グリーン購入		積極的にエコ商品の切り替えに努める。	○
地域貢献		地域貢献活動は8月に計画	△

○：評価できる、△：まずまず評価できる、×：評価できない

2. 次年度の取組内容

(1) 二酸化炭素排出量の削減

まだ、現場においてアイドリングストップの習慣が浸透しないと見られる。
体調管理を考慮した上で、休憩中などに皆が意識をして行う様に呼びかける。

(2) 廃棄物の排出削減

分別が、会社全体で習慣化してきており、社内にゴミを持ち込まない、ゴミのでない様に
個々の意識が結果として見られたので今後は、更に分別品目を増やし、減量に取り組んでいく

(3) 節水（排水対策）

管理車両が多い為、洗車に使う水の減量を目標とする。
また、事務所においても水を貯めて食器を洗うなど工夫をし節水を心がける。

(4) グリーン購入

事務用品のグリーン商品へ順次切り替えていく。

(5) 地域貢献に関する取組

地域貢献活動の幅を広げ、活動回数を増やしていく。

(6) その他の取組

社員教育において講師を呼んでセミナーを行うなど、会社全体で意識が高まる様に
事務局が率先して企画をアピールしていく。

9 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法において、遵守状況を確認いたしました。違反はありませんでした。また、過去3年においても関係当局からの違反等の指摘、訴訟はありませんでしたが、業務において住民からの指摘、苦情があった件については相手方への謝罪と共に、改善と見直しにおいて指示を行いました。

10 代表者による全体評価と見直しの結果

見直し項目	評価	改善及び指示
1 環境方針	社全体の意識は変わってきたものの、未だ本来の取り組みへの意図が全体に浸透されていない。	方針でかかげられた内容を今後も全体に呼びかけていく。個々が常にそれに沿った目標を立てるようにも促していく。
2 環境目標	各部の目標設定を提示し各々がエコへの取り組みを具体的に理解できる工夫されていた。	「見える化」を行い、誰でも自分たちの取り組みの結果がわかるようにする。
3 環境活動計画及び環境経営システム	ボランティア、地域貢献への取り組みは例年通り実施ができた。未だ改善が見られていない点については、明確にして皆が理解できる様にしていく。	環境管理委員全体で役割分担をし、全体の取り組みを把握すること。またそれを各部署全体が周知できる様に掲示、呼びかけをしていく。
4 全体評価	一年が経過し、徐々に個々の意識も変わり、その成果として少しずつではあるが改善が見られてきた。今後は改善点や見直しの余地がある項目を社全体で把握したうえで、取り組んでいく。また、教育訓練計画に重点を置き、社員全員が地球環境の現状を「知る」から「理解する」できている企業を目指し、レベルアップできる機会を順次取り入れていく。	

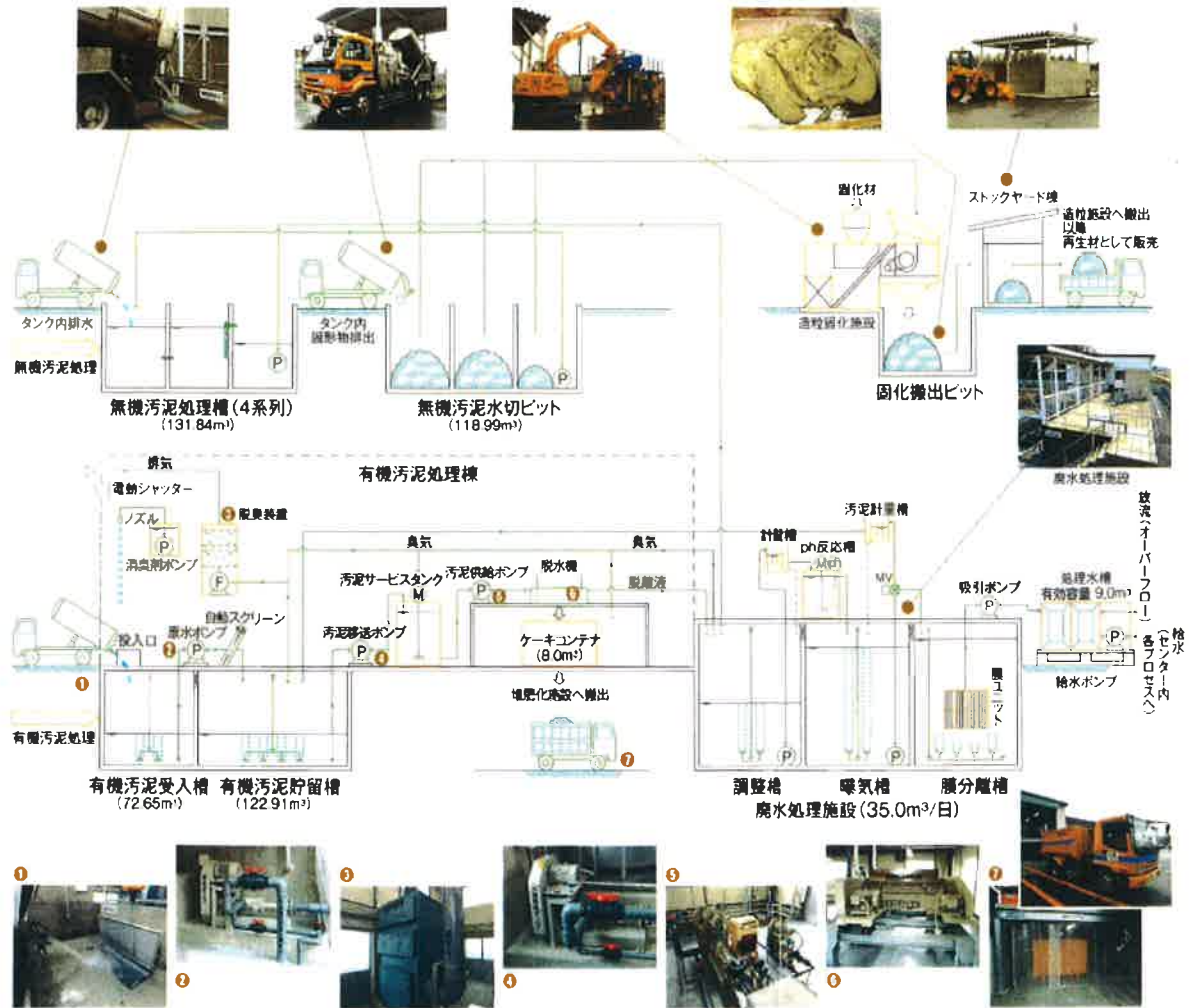
1 1 廃棄物処理業に関する情報公開

事業所名	株式会社 理水興業						
代表者名	今野 秀實						
所在地	〒025-0065 岩手県花巻市星が丘二丁目16-12						
環境管理責任者	高橋 満						
エコアクション2.1担当者	主濱 睦						
連絡先	電話	0198-23-5395	ファクス 0198-23-6078				
	E-mail	risui.top9@dance.ocn.ne.jp					
	URL	http://www.risui-kogyo.co.jp/pc/index.html					
事業活動の内容	1. メンテナンス部門 汚水処理施設（浄化槽含）の維持管理、清掃 2. 環境事業部門 (1) 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物含）の収集・運搬（積替保管含む）、中間処理（汚泥）・処理 (2) 一般廃棄物収集運搬業 (3) 貯水槽・油タンク等の清掃・管理、各種配管の洗浄・更生 3. 工事部門 (1) 管工事 給排水・衛生・空調・消防設備・浄化槽等の設計・施工 (2) 土木工事 水道本管・舗装・下水関連等 (3) その他の工事 電気工事等 4. ペットサロン部門 ・動物の小売り及び卸売り並びにそれらを目的とした繁殖または輸出入を行う業（その取り次ぎまたは代理を含む） ・保管を目的に顧客の動物を預かる業						
事業計画の概要	当社の関係事業を通じて、資源循環型社会構築を目的とし、低炭素社会構築に貢献する。						
事業の範囲	岩手県内一円						
事業の規模	事業年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度			
	売上高（千円）	1,257,134千円	1,471,904千円	1,378,869千円			
	産廃収集運搬量	7159.77 t	6083.34t	18031.21t			
	一般収集運搬量	3855 t	9330t	4524.64t			
	処分量	2351.81t	1928.03t	1356.57t			
	従業員（名）	62名	62名	63名			
法人設立年月日	平成47年9月5日	資本金	40	百万円			
許可の内容	許可名	許可番号	事業区分、廃棄物の種類				
		許可有効期限					
	基準適合産業廃棄物処理業者	許可 有効	2014-010号 H25.6.29～H28.6.28	産業廃棄物処理業/収集運搬業（積替保管あり）処分量（中間処理） 特別管理産業廃棄物処理業/収集運搬業（積替保管あり）			
	一般廃棄物処理業	許可 有効	花巻市（第200-15） H26.4.1～H28.3.31	事業系ごみ・家庭系ごみ・浄化槽汚泥の収集運搬			
	一般廃棄物処理業	許可 有効	北上市（第422号積降し） H27.5.1～H29.4.30	一般廃棄物の収集運搬業			
	建築物飲料水貯水槽清掃業	許可 有効	岩手県53二十三貯第2号 H23.9.1～H29.8.31	建築物飲料水貯水槽業			
	建築物排水清掃業	許可 有効	岩手県53二十六排第1号 H26.12.16～H32.12.15	建築排水管清掃業			
	地下タンク等点検業	許可 有効	地（6）第03005号 H26.6.1～H31.5.31	地下タンク			
設備	設備名	能力・産廃の種類	台数	設備名	能力・産廃の種類	台数	
	汚泥リサイクルセンター	横軸遠心分離脱水機		1台	4tユニック車	2,850kg	1台
		処理能力：40m ³ /日			塵芥車	2,450kg	1台
		造粒固化施設			塵芥車	2,400kg	1台
		処理能力：100t/日			塵芥車	2,500kg	1台
		排水処理施設			冷蔵冷凍車	2,000kg	1台
		バックホー 0.45m ³	1台		バン	1,500kg	1台
		ホイールローダー 1.2m ³	1台		脱着装置付コンテナ専用車	3,850kg	1台
	ホークリフト 1.5t	1台	脱着装置付コンテナ専用車	7,300kg	1台		
	積替施設面積&保管上限			面積	84.68m ³ 保管量	35.7m ³	
	保有車輛一覧			脱着装置付コンテナ専用車	3,950kg	1台	
	バックホウ汚泥吸引車	7,250kg	1台	7tトラック	7,700kg	1台	
	Sモビル汚泥吸引車	9,400kg	1台	洗浄車	450kg	1台	
	モビル汚泥吸引車	8,200kg	1台	洗浄車	2,500kg	1台	
	タンクローリー	10,040kg	1台	工作車	2,000kg	1台	
	タンクローリー	11,160kg	1台	貯水車	1,000kg	1台	
	7tユニック車	6,900kg	1台	トリータ固液分離車	36m ³ /日(4.5m ³ /時間)	1台	
4tユニック車	3,000kg	1台	カーネーション袋脱水車	1台			

処理方法・処理工程

汚泥リサイクルセンター パンフレット参照

無機性汚泥・有機性汚泥 処理フロー



廃棄物受入基準	収集運搬物・処理物	受入基準
	汚泥	
		無機性汚泥（特管産業廃棄物であるものを除く。）
廃棄物の処理料金については当社営業までお問い合わせください。		

受託した産業廃棄物の収集運搬処理量

平成25年度

処理方法等	廃棄物等種類	平成24年処理量 t	平成25年度処理量 t	平成26年度処理量 t
収集運搬	燃え殻	2.87	2.21	5.3
	汚泥	5180.68	4309.12	8786.87
	廃油	954.89	798.36	694.48
	廃酸	11.79	17.94	13.93
	廃アルカリ	156.22	145.26	71.22
	廃プラスチック	388.79	253.71	330.49
	紙くず	0	0	0
	木くず	7.46	16.25	26.95
	動物性残渣	90.4	100.38	6540.16
	ゴムくず	0	0	0
	金属くず	12.61	10.55	565
	ガラス陶磁器	89.17	48.56	72.8
	がれき類	41.58	64.21	12.19
	廃油 (特管)	115.76	104.1	301.12
	廃アルカリ (特管)	1.76	1.82	3.61
	感染性	86.9	58.86	113.05
	廃石綿等	0.31	0	470.02
	汚泥 (特管・有害)	14.21	13.99	18.43
	廃油 (特管・有害)	0.8	0.66	2.24
	廃酸 (特管・有害)	0.4	0.02	0
	廃アルカリ (特管・有害)	2.89	1.62	1.65
	強酸 (有害)	0.28	0.4	0
	強酸	0	0.24	0
平成26年収集運搬量合計				
中間処理	汚泥	脱水、造粒固化		4524.64t
中間処理合計				
再資源化	汚泥			1356.57t

【汚泥リサイクルセンターにおける環境への負荷の実績】

		単位	H24年	H25年	H26年
① 総エネルギー投入量	購入電力	MJ	1152145	1162152	1200430
	化石燃料	MJ	555020	703102	486849
	新エネルギー	MJ			
	LPG	MJ	62	21	11
② 総物質投入量	資源投入量	t			
	循環資源投入量	t			
② 水資源投入量	上水	m ³	148	133	112
	工業用水	m ³			
	地下水	m ³			
【③ 温室効果ガス排出量】	【二酸化炭素】購入電力	Kg-CO ₂	70324	70935	67271
	【二酸化炭素】化石燃料	Kg-CO ₂	12727	7882	8149
【⑤ 総排水量】	公共用水域	m ³	4940.7	4700.4	4987.8

岩手県

株式会社 理水興業 産業廃棄物処分及び運搬許可一覧

許可番号	許可年月日	許可期限	取り扱う産業廃棄物の種類															処分するために処理したもの				
			燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鉱さい		がれき類	動物の糞尿	動物の死体	ばいじん
312007199	H23.9.16	H28.9.15	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎

◎:積替保管 (保管場所花巻市天下田48-4) 自動車等破砕物を除く

許可番号	許可年月日	許可期限	取り扱う産業廃棄物の種類															処分するために処理したもの				
			燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鉱さい		がれき類	動物の糞尿	動物の死体	ばいじん
322007199	H23.4.16	H28.4.15																				

中間(造粒固化)

◎※1
◎※2
○

北上市口内町松越133-2、134-1、134-3

中間(脱水処理)

※1:無機性汚泥に限る

中間(移動式脱水)

※2:有機性汚泥に限る

許可番号	許可年月日	許可期限	特別管理産業廃棄物の種類																										
			水銀	カドミウム	鉛	有機燐	六角クロム	ヒ素	シアン	PCB	トリクロ	テトクロ	ジクロロ	四塩化炭素	1・2ジクロロ	1・1ジクロロ	シス1・2ジクロロ	1・1・1トリクロ	1・1・2トリクロ	1・3ジクロロ	テラウム	シマジン	チオベンカルブ	ベンゼン	セレン	1・4ジオキサン	ダイオキシン		
362007199	H25.7.30	H30.7.29	ア	燃え殻		◎	◎		◎	○	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/		
			イ	汚泥		◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
			ウ	廃油		◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
			エ	廃酸		◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
			オ	廃アルカリ		◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
			カ	燃え殻		◎	◎		◎	◎		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
			キ	汚泥		◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
ク	廃油		◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				
ケ	廃酸		◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				

◎:積替保管 (保管場所花巻市天下田48-4) 自動車等破砕物を除く